

# 日本動脈硬化学会 若手研究者奨励賞規定

1. 日本動脈硬化学会は、わが国における動脈硬化研究進展の一助として、日本動脈硬化学会若手研究者奨励賞を設ける。
2. 若手研究者奨励賞の選考対象は、動脈硬化研究（原則としてわが国でなされたもの）に関する応募年前年の8月1日以降に掲載または受理された英文原著論文で、本学会会員より提出されたものとする。共著者多数の場合は応募者の役割・貢献度を明記すること。応募は本学会の規定した応募用紙に所定事項を記載のうえ、1名以上の評議員の推薦書および選考対象となる英文原著論文をつけ、締切日までに学会事務局に提出することとする。なお、同一論文での再応募は不可とする。
3. 受賞者を選考するために若手研究者奨励賞選考委員会を設ける。選考委員会は次年度総会会長を委員長として理事長に、若干名の委員を加え、20名以内で構成する。委員は学会各賞選考委員会が評議員の中から適任者を選考し、理事会で承認を得る。
4. 選考委員会は次年度総会までの間に会合をもち、若手研究者奨励賞受賞者を若干名選出する。
5. 学会長は若手研究者奨励賞受賞者の研究発表のスケジュールを総会の学術集会に組み込み、受賞者の口頭発表・討論後、選考委員会の投票により最優秀賞受賞者1名を決定するように取り計らうものとする。
6. 選考委員会の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。委員長の任期は1年とする。
7. 若手研究者奨励賞の応募資格は受賞年1月1日現在43歳未満の本学会会員で、会員歴2年以上、学会での発表歴が1回以上あるものとする。なお、過去に日本動脈硬化学会若手研究者奨励賞および最優秀賞を受賞している者の応募は対象外とする。
8. 最優秀賞および奨励賞受賞者には、別に定める条項（付則）に伴い、それぞれ副賞として奨励金を贈呈する。
9. 若手研究者奨励賞受賞者の表彰はその時の総会において、理事長が行う。
10. 本規定の変更は学会各賞選考委員会の討議を経て理事会の承認のもとに行うものとする。変更事項については評議員会、総会には報告事項とする。

1999年6月24日、第1回から第7回の学術奨励賞を名称変更し、第8回から若手研究者奨励賞とした。

2002年3月29日、第10回若手研究者奨励賞選考委員会において、規定の一部を改定した。

2003年7月23日、第12回若手研究者奨励賞選考委員会において、規定の一部を改定した。

2005年7月13日、第9回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2006年7月12日、第10回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2014年2月1日、第25回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2015年7月8日、第28回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2016年2月6日、第29回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2019年2月2日、第35回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2020年7月16日、第38回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2021年2月13日、第39回学術委員会において、規定の一部を改定した。

2022年5月30日、第2回学会各賞選考委員会において、規定の一部を改定した。

## 若手研究者奨励賞規定（付則）

最優秀賞1名

賞状および副賞として金200,000円を授与する。

奨励賞若干名

賞状および副賞として金100,000円を授与する。